

～マイナ保険証で市民は 混乱！ 丁寧な周知と安心の医療を～



2024年12月2日、健康保険証の新規発行が廃止されました。現在はマイナ保険証や資格確認書、また、国の特例により来年3月までは期限切れ保険証が使用可能です。日本共産党は市に対し、「制度が複雑で市民に混乱を招いている」「保険料納付が難しい人へ減免制度を案内してほしい」など、市民への周知と丁寧な対応を求めました。

さらに、「自己負担が困難な市民が突然窓口10割負担とならぬよう、市町村の判断で3割負担が可能」という国の通知を改めて紹介し活用を求めました。

引き続き市民の皆さんが安心して医療を受けられるよう、取り組んでまいります。

日本共産党 ※予約が必要です

八幡東区生活相談

生活、医療や介護、福祉など、いっしょに取り組みます。みなさんのお困りごと解決へ、お気軽にご相談ください。
(プライバシー厳守)

住所：八幡東区西本町4丁目5-19
電話：093-661-0636

小倉北区西部

無料法律 生活相談

☎ 090-3412-7834

無料法律相談は第1・3・4水曜日 18時～弁護士同席で予約が必要です。生活相談は随時、お受けしています。

法律相談：小倉北区田町 13-21-3F

お気軽にお声かけください

～まちづくりは

低層階が店舗マンション



中央町のマンション予定地

住民の声を生かして～

八幡東区の中央町では、大型店の撤退やUR住宅の取り壊しが進み、跡地にはマンションの建設が予定されています。しかし、住居のみの計画で、買い物や交流の場がなく、高齢化が進む地域では「暮らしにくいまち」になることが心配されています。

市は民間任せにせず、マンションの低層階に小規模スーパーや交流サロンを整備するなど、市が主導し、企業や団体の力を活かす「官民連携」によって、安心して便利なまちに変えていくことができます。

大切なのは、住民抜きの計画ではなく、住民の声を生かしたまちづくりです。みんなで力を合わせ、声を上げていきましょう。

市民の声を届けた9月議会

日本共産党市会議員団は、国の大軍拡、福祉切り捨ての政治と正面からたたかうとともに、ムダな大型開発事業に歯止めをかけ、深刻な物価高から市民の暮らし・中小零細業者の生業を守り、市民が主人公の市政を実現するために全力で取り組みます。



がけ崩れ

「自助努力では限界」市は独自支援を

北九州市では8月9日から大雨で全壊1件を含む90件の被害が発生し、市内20か所以上でがけ崩れが起きました。住宅や道路に土砂が流入し、市民生活に深刻な影響を及ぼしています。

市議団は「自助努力では限界だ」と指摘し、融資頼みでなく他都市のような工事費補助など、市独自の公的支援を早急に検討すべきだと強く求めました。



今年8月の大雨災害に関するものが多く出されました。過去にも大雨災害はありましたが、これほどの被害が若松区で出たのは初めての経験であり、多くの課題が浮き彫りになりました。

気候変動の影響で、今後はこれまで以上の規模の災害に備える必要があります。市議団は国と連携し、市が防災と減災の取り組みをしっかりと進められるよう働きかけてまいります。

市政懇談会

67人が参加



反対討論

不十分な物価高騰対策、ムダな大型開発、北九州空港での軍事訓練など、11件の議案に反対しました。詳しくは、日本共産党北九州市会議員団のホームページをご覧ください。



長提出議案の詳細はコチラ

反対した議案の主な内容

- 物価高騰対策
- 大型開発事業
- 予算事務事業の見直し
- デジタル市役所・業務量調査
- 血倉山ロングスライダー
- 職員の長時間勤務
- 教員の働き方
- マイナ保険証
- 国民健康保険料
- 特定利用空港に選定された北九州空港
- 門司港地域複合公共施設建設整備事業

日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
永井 佑	大石 正信	◎高橋 都	伊藤 淳一	○荒川 徹	☆山内 涼成
		宇土浩一郎			

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2025.10.22

No.596



発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団 ホームページ→

佐賀空港に 17 機配備

オスプレイを視察しました

佐賀空港でオスプレイを視察



8月26日、日本共産党北九州市議団は、佐賀空港を訪れ、配備が完了したオスプレイを視察しました。滑走路を使った離着陸訓練が繰り返され、独特の重低音を響かせる飛行を間近に確認しました。

「飛行ルートはパイロット」まかせ

佐賀県や九州防衛局の担当者は「住宅地や病院上空は制限する」と説明しましたが、「最終判断はパイロットに委ねられる」とされ、市民の安全が守られない実態が浮き彫りになりました。

相次ぐ事故と“オスプレイ大国”

オスプレイはこれまでも、沖縄・与那国駐屯地での機体損壊事故や、屋久島沖での墜落死亡事故など重大事故を繰り返しています。原因究明がなされないままの運用に、市民の不安は高まるばかりです。オスプレイの正式採用は、世界でもアメリカと日本だけ。日本は“オスプレイ大国”であり、その負担は住民に重くのしかかっています。



北九州市でも低空飛行の危険

防衛省は九州7県85か所での低空飛行訓練の可能性を示しており、市内では小倉駐屯地、曽根訓練所、富野分屯地周辺などが対象とされています。高度300メートル以下の低空飛行や夜間訓練が計画され、住宅地や学校、病院のすぐそばの飛行が懸念されます。

市長に「飛行中止」を申し入れ

こうした現状を受け、市議団は9月9日、市内市長に対して「北九州市上空でのオスプレイ飛行中止を求める」申し入れを行いました。



市民とともに安心のまちへ



安心して暮らせる北九州を守るために、これからも市民のみなさんと力を合わせて取り組みます。



— 2025年 — 学校ウォッチング

特に注視したのは「雨漏り」問題。雨漏りしている学校が増えてきています。今年度、国からの交付金が下りずに大規模改修が中止になった守恒小学校も酷い状態でした。予算がないからと後回しにするのは、天井落下の原因になる等とても危険です。

雨の降り方が変わり災害級の大雨が増えてきた中、雨漏りの改善は喫緊の課題です。早急な対応をと、懇談で申し入れます。

改善要望の実現

2023年度の学校ウォッチングで指摘していた清水小学校のグラウンド。2025年8月に工事の一般競争入札が公告されました！

「新しいのに石がゴロゴロ出てくる」と、教育委員会との懇談でも注目された箇所です。参加者のみなさんの力で、運動場の改修が実現します。

今年も実施しました！

各区2校ずつ、学校施設チェックに行きました！教育委員会との懇談は、10月中旬を予定しています。子どもの安全と学ぶ環境の改善に向けて、取り組んでいきます。



2025年学校ウォッチングの様子



2023年度学校ウォッチング(清水小)



学校給食の無償化はいつ？



▶ 国の動向を注視する

国が無償化にかかる制度の考え方や具体的な内容を示していないなか、詳細な制度設計を行うことは難しい状況であるとし、開始時期や対象者については明言しませんでした。

▶ 超限定的に免除

北九州市は9月議会において、小学校6年生と中学校3年生の給食費を3ヵ月免除する補正予算を計上しました。期間は、R8年1～3月分です。

この免除を提案するにあたって、先日発足した「学校給食プロジェクトチーム」は関与していません。検討するまでもなく、市長の意識次第で学校給食の無償化は実現できます。

▶ 本議会・委員会で実現を求める

学校給食の無償化を実現してほしいという市民の願いに応えるよう要望しました。限定的な免除がはじまる年明けに、すべての学年で学校給食の無償化を実行すべきです。

「北九州食堂」オープン！

9月8日、北九州市役所の地下に、待ちに待った食堂がオープンしました。職員食堂は単なる「食事提供の場」ではなく、健康維持・働きやすさ等を支える大切な福利厚生の一環です。

職員の福利厚生は…？

健康面への配慮、利便性と効率性、コストパフォーマンスなどが求められます。が、メニューの値段は高め。市は「社員食堂を通した健康づくり」や「毎日プラス一皿の野菜」を推奨しているものの、定食にサラダはなし。「良い福利厚生」へ改善するために、食堂への補助を市に求めました。

